

整理番号	21001
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月19日
事業担当課	移住支援室

《基本情報》

事務事業名	ながさきウェルカム推進費 (移住交流会の開催)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C2 人や企業を呼び込み、新たな事業を創出して、産業を強めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	移住人材、創業企業、誘致企業が	地域経済活動に活力を与え、地場企業と共に産業を活性化させている。	
個別施策	C2-3 働く世代を中心とした移住を推進し、地域や企業を活性化させます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	働く世代を中心とした移住希望者が	長崎市への移住を実現し、地域や企業を活性化させている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>第2期長崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「経済を強くし、新しい人の流れをつくる」という目標を掲げ、移住促進や将来的な移住者につながる関係人口の創出・拡大の施策を展開している。</p> <p>長崎市への移住者数の目標は令和元年度、令和2年度と達成しているが、移住者数の内訳をみると、令和元年度の6割、令和2年度の7割がUターンとなっている。</p>
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	Uターンを希望する方の移住先の選択肢に、長崎市が選ばれているような状態
課題(どういことをする必要あるのか)	Uターンを希望する方の移住先として選ばれるためには、まずは長崎に興味を持ってもらい、何度も長崎市を訪れてもらう必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>移住交流会の開催 農林振興課が実施する福岡圏を対象としたグリーンツーリズムの体験ツアーと連携し、ツアー参加者と長崎市の移住者との交流会を開催する。 グリーンツーリズムに興味を持っている方が長崎市の魅力を移住者から直接聞くことで、長崎市での暮らしなど移住先としてのイメージを深めてもらい、今後の関係人口や移住希望者の獲得につなげる。 《ルート(案)》 1日目 8:45 博多駅集合 ⇒ 11:00～〇〇エリアで体験 ⇒ 17:00 宿泊地到着(長崎市中心部) ⇒ 17:30～19:00 移住交流会 2日目 10:00～〇〇エリアで体験 ⇒ ～19:00 博多駅周辺解散 【対象】 農林振興課が実施するグリーンツーリズムの体験ツアー参加者(30人×2回)のうち3割程度 【対象期間】 グリーンツーリズムツアー(1泊2日)のうち2時間程度 【事業主体】 長崎市 【事業期間】 令和4年度 【総事業費】 56千円 【事業費内訳】 謝礼金 32千円(@4千円×2H×2人×2回) 実費弁償 4千円(@1千円×2人×2回) 会場借上料 20千円(@3千円×3H×1.1×2回) 【補助率】 地方創生推進交付金 国1/2</p>						
<p>業務量の増減</p>	<p>60時間の増 ※現在9,424時間+60時間</p>						
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 ツアー参加のグリーンツーリズムの団体と協働で取り組んでいく。</p>						
<p>事業期間</p>	<p><input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>						
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>	
	<p>当年度</p>	<p>56</p>	<p>28</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>0</p>	<p>28</p>
	<p>総額</p>						
	<p>財源名称</p>	<p>地方創生推進交付金</p>					
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>移住交流会への参加者数</p>					
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>	
	<p>目標値</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	<p>20</p>	
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>移住交流会への参加者数が増えることで、長崎市への移住に興味を持って、定期的に訪れるようになることが期待できるため、移住交流会への参加者数を成果指標とした。</p>					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

長崎市への移住者はUターン者の割合が多い状況の中、農林振興課が実施するグリーンツーリズムの体験ツアーと連携し、ツアー参加者と長崎市の移住者との交流会を開催することで、Iターン希望者の増加を図るものである。

長崎市での暮らしなど移住先としてのイメージが深まることは、関係人口の創出や移住希望者の獲得につながることから、事業の実施は適当である。